

平成28年度採用分特別研究員
PD・DC・RPD の募集について

平成28年度採用分の特別研究員の募集が始まりました。今回から、申請が電子化されたことにより、受入研究者等はWEBサイト上にて評価書の作成をしていただくこととなります。

1. 申請者への周知（お願い）

申請資格を有する方に募集があることを案内いただきますようお願いいたします。将来的に博士課程を志望・検討される方についても説明会等へ参加いただければと考えております。

なお、今回よりPDの応募は原則として学外からの応募に限られています。

2. 評価書作成の流れ

1. 申請者が受入研究者等の所属、氏名、メールアドレス等を電子申請システムに登録
2. 電子システム上送信される電子メールにて評価書依頼が届きますので、当該メールに記載された手順に従って評価書を電子申請システム上で作成。
3. 申請者が申請内容を修正した場合、提出済みの評価書の再提出が必要になる場合がありますので、ご配慮をお願いします。（再作成に備え評価コメントをメモしておく等）

3. 申請部局、受入部局について

「受入研究者の所属部局＝申請部局＝受入部局」となります。

（但しDC1が他大学受入の場合、現在の所属研究科からの申請になります。）

＜ご注意＞兼務されている方、研究所等（研究科以外）に所属されている方

申請者に所属部局名を連絡される際は、受入される（経理等を行う）部局をお伝えください。

DCの場合、学籍上の指導教員が受入研究者となりますが、指導教員の本務先が研究所等であって、そこで研究活動をされる場合は、当該研究所等が受入研究者の所属部局となります。

4. 学内提出期限（参考）

RPD 4月20日（月）12時

PD, DC 5月20日（水）12時

5. 特別研究員用特設サイト（参考）

<http://research.kyoto-u.ac.jp/service/topic/gakushin-support>

各部局担当窓口の連絡先、申請者向け案内文、学内説明会、本学の近年の申請/採用状況等の情報をまとめて掲載しておりますので、申請者にご案内ください。

（参考）申請（受入）部局について <よくあるQA>

Q. 申請者（DC）は、A研究科に（学籍上）所属し、学籍上の指導教員でもある受入研究者はB研究所に所属している。この場合、どちらの部局で申請手続を行うのか？

A. 例として、A研究科の協力講座をB研究所が実施し、A研究科に在籍する学生がDCに応募するとします。B研究所の教員を受入（指導）教員とする場合は、B研究所にて申請手続を行っていただきます。これは、採用に伴う受入手続や特別研究員奨励費（科研費）の経理等について、受入教員（研究室）が所属する部局にて対応いただくことが適切であるという考え方によるものです。申請書上、申請者の所属はA研究科、「研究指導者」や「受入研究者」の所属は当該教員の所属部局であるB研究所を記載してください。当該教員の所属部局が不明である場合、受入予定の教員または部局担当事務へお問合せ下さい。 以上